



好条件のふたご座流星群を見よう



天空が広がるうぶやまの高原には、初冬の冷たい北風が吹いています。今年の冬はラニーニャ現象で雪が多く、厳寒が予想されていますが、産山村では空気が乾燥して、素晴らしい星空が広がっています。

今冬のふたご座流星群は、13日の深夜から14日の未明にかけて極大で、月が新月間近ですので、月明かりの影響がほとんどなく、夜空が暗い産山村では暗い流星も見え、1時間に50個以上が期待されます。夜半から一晩中観察される方向である天文台の南東側に、ブルーシートを用意します。夜は氷点下になる厳冬期ですので、長時間観察される方は夜露対策や防寒対策を十分にお取りください。

また、この頃は地球から遠ざかっている火星が一晩中良く見えます。村民以外で天文台を利用される方は有料ですが、午後6時～10時頃までは火星や冬の星団・星雲を観察して、その後に流星群の観察となります。天文台を利用されず、ふたご座流星群のみの観察の方は天文台へ入館されないため無料です。流星群が活発になる夜半からの参加でも大丈夫です。

期 日	:	令和2年12月13日(日)～14日(月)
時 間	:	午後6時00分～翌日午前5時00分
場 所	:	うぶやま天文台(熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内)
観察対象	:	ふたご座流星群 火星 アンドロメダ座M31銀河 ペルセウス座二重星団 冬の大三角 冬の天の川 等
持参物	:	防寒着(天文台周辺は氷点下まで気温が下がります) 星座早見盤(学校等で制作したもの) 一般参加者で持ってない人には当日配布します。
料 金	:	村内の方……無 料 村外の方……高校生以上 300円 小中学生 200円 未就学児 無 料 ※ふたご座流星群観察については全員無料

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

天候不良等で実施できない場合は、延期日、もしくは中止について当日午後5時までにお知らせ端末にて連絡します。

上記につきましては産山村外の方は、産山村教育委員会(0967-25-2214)までご連絡下さい。

【ご来館予定の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、ご来館前及びご来館の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

○新型コロナウイルス感染者との濃厚接触が判明している場合や、その恐れがある場合は、来館できません。

○咳や発熱などの症状がある場合は、来館できません。

○マスクや手洗いなど、各自で十分な防護策をお取りください。

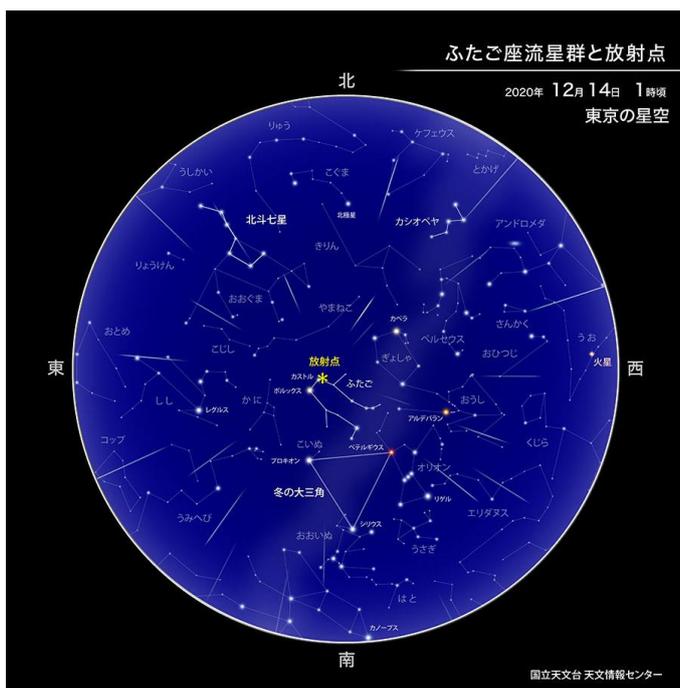
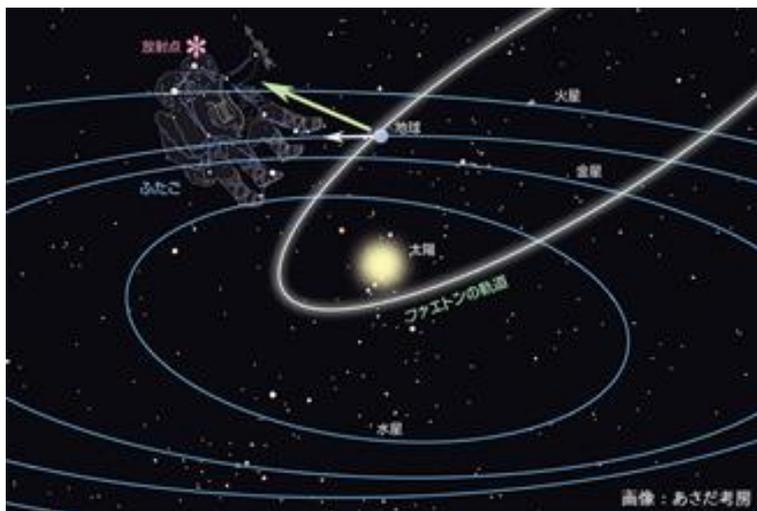
ふたご座流星群とは

ふたご座流星群は毎年12月13日～15日頃を中心に活動する流星群で、しぶんぎ座流星群、ペルセウス座流星群と並び年間三大流星群の一つです。放射点がふたご座のβ星カストル付近にあるのでふたご座流星群と呼ばれます。母天体は、流星群は通常彗星ですが、ふたご座流星群の母天体は小惑星ファエトンといわれています。

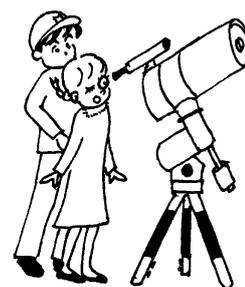
ふたご座流星群の母天体小惑星ファエトン

ファエトンは元々彗星で、彗星の時に何回も帰帰し、たくさんのチリやホコリを放出し、痩せ細り中心部の岩石だけになり、やがて地球の重力で補足され小惑星ファエトンとなりました。ファエトンが彗星の時代に、太陽に近づいて地球の公転軌道上をかすめて通過し、軌道上ばらまかれた彗星のかけらや氷の塊、岩石のかけら、チリやホコリなどが毎年同じ時期に地球の重力に引かれ、それらのかけらが地球の大気に飛び込み、空気の摩擦で燃えて流星となります。流星のほとんどが小さいため大気中で燃え尽き、地表面に到達するものはほとんどありません。

13日をはさんで数日はこの流星群はみられますが、一番多い極大が14日10時頃ですので、14日早朝まで一晩中良く見えるでしょう。



ふたご座の流星群の放射点



【天文台開館日】

毎週 月・水・金・土曜日（祝祭日除く）

※ただし、星空観察会については毎月の新月の日、その他の天文台イベントについては、天文現象等に合わせて開催しますので、規定の開館日以外の開催となる場合があります。

【開館時間帯】

午後6時00分～午後10時00分（12月）

※天文現象等に合わせた天文台イベントの場合、この限りではありません。

【予約申込み・問い合わせ先】

産山村教育委員会（TEL：0967-25-2214）

受付時間帯：平日午前8時30分～午後5時15分